

令和元年度の一般会計・特別会計・企業会計・企業会計の決算がまとまりました。

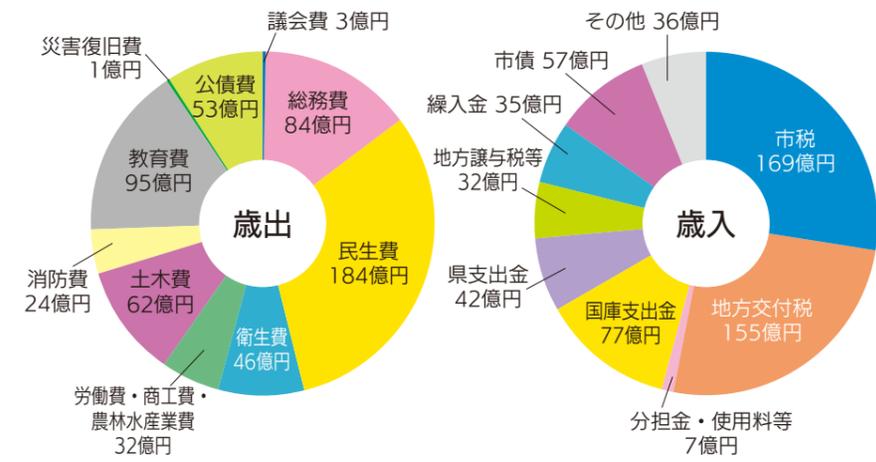
皆さんの大切な税金をもとに運営されている市政。昨年度はどれくらいの収入があり、どのような目的に使われたのかを、お知らせします。

※計数は、それぞれ四捨五入しているため、合計や差引が合わない場合があります。

一般会計

歳出総額 585億1,541万円
対前年度比 13億9,470万円増

歳入総額 609億7,136万円
対前年度比 20億1,443万円増



※()内の金額は、前年度との比較

- 市税** 169億3,454万円(1億4,913万円増)
皆さんが納めた市民税、固定資産税、軽自動車税など
- 地方交付税** 154億6,211万円(3億4,538万円増)
地域で生活に違いが出ないよう、人口や税収に応じて国から配られるお金
- 国庫支出金** 76億6,600万円(10億1,067万円増)
国からの補助金
- 県支出金** 41億6,974万円(2億7,985万円増)
県からの補助金
- 市債** 56億8,630万円(4億7,920万円増)
市が必要な事業をするために国や金融機関などから借りるお金
- 地方譲与税等** 31億9,051万円(1億8,253万円増)
国や県が集めた税金のうち、市町村に配られるお金
- 繰入金** 35億2,448万円(6億4,895万円増)
各種基金から繰り入れるお金
- 分担金・使用料等** 7億1,946万円(2億857万円減)
保育所や幼稚園の保育料、市営住宅家賃など
- その他** 36億1,822万円(1億8,195万円減)
諸収入、寄付金、財産収入、繰越金
- 総務費** 84億329万円(4億28万円増)
人権施策、庁舎管理、交通対策、防犯対策、自治振興など
- 民生費** 184億4,491万円(5億1,701万円増)
児童、高齢者、しょうがい者の福祉推進など
- 衛生費** 46億4,345万円(1億5,111万円減)
予防接種、母子保健、健康増進やごみ、し尿の処理など
- 土木費** 62億2,392万円(1億5,145万円減)
道路、公園、公営住宅等の整備や除雪など
- 消防費** 23億9,188万円(9億6,026万円減)
消防・救急活動、水防や災害対策、原子力対策など
- 教育費** 94億5,251万円(19億7,223万円増)
学校の管理・運営や施設整備、生涯学習の推進や文化財の保護など
- 災害復旧費** 1億3,393万円(2億1,065万円減)
台風等の災害を受けた箇所への復旧経費
- 公債費** 53億1,996万円(2,788万円増)
これまでの施設整備などのために借りたお金(市債)の返済
- 議会費** 2億6,435万円(921万円増)
議員の報酬や市議会の運営経費
- 労働費・商工費・農林水産業費** 32億3,722万円(5,845万円減)
勤労者の福祉、商業・観光、農林水産業の振興など

特別会計

区分	歳入	歳出	差引	特徴
国民健康保険	114億3,163万円	114億2,359万円	805万円	財政運営主体が県となる新国保制度が始まって、2年目になり、安定的な運営のため、事務の効率化を図ります。保険料率は、基金を活用し、引き上げ幅を抑えました。
国民健康保険(直診勘定)	2億3,839万円	2億2,557万円	1,282万円	診療所運営は厳しく、基金の繰入で対応する状態が続いています。赤字が続くと予想されるため、より効率的な運営に努めます。
後期高齢者医療保険	13億4,855万円	13億4,822万円	33万円	保険料率は平成30年度と同率です。被保険者から納められた保険料を大切に使い、引き続き、高齢者が安心して医療を受けられる制度を維持できるように努めます。
介護保険	118億3,653万円	116億3,610万円	2億43万円	高齢者人口が増加する中、介護保険の適正な運用や地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの推進に取り組みました。引き続き、安定的な運営に努めます。
休日急患診療所	5,472万円	4,280万円	1,192万円	湖北医師会の協力のもと、内科および小児科の初期救急医療を実施しました。休日急患診療所の利用者割合は53.5%であり、救急病院の負担の軽減を図りました。
農業集落排水	14億1,429万円	14億1,173万円	256万円	単独処理のため、汚水処理費が割高となり、使用料で維持管理費の全額が回収できていません。そのため、公共下水道への統合を進め、経営の改善に努めます。

企業会計

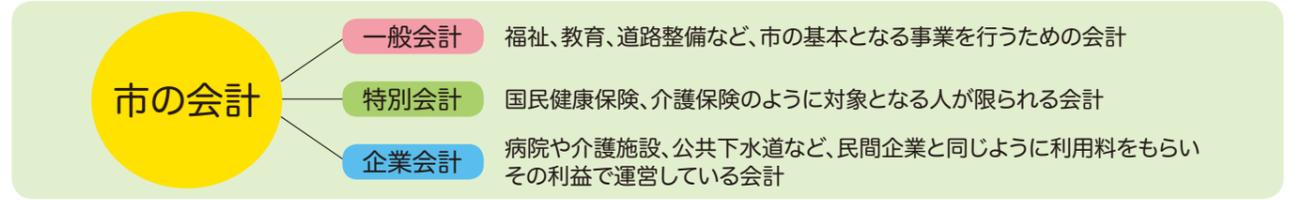
病院事業			
長浜病院		湖北病院	
収益的収入	収益的支出	収益的収入	収益的支出
132億5,595万円	136億3,860万円	27億9,524万円	28億8,016万円
純損益 △3億8,265万円 (経常損益 △3億8,265万円)		純損益 △8,492万円 (経常損益 △8,492万円)	

令和元年度決算は、昨年度に引き続き、同年度比4億7,615万円(長浜病院3億3,637万円、湖北病院1億3,978万円)の改善を図ることができました。医師不足や経年劣化した施設・機器の更新による経費負担が増加するなど、病院経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、今後も湖北医療圏域の中核を担う基幹病院として、両病院がそれぞれの特徴を活かしつつ、地域ニーズに沿った質の高い医療を安定的かつ継続的に提供していきます。

老人保健施設事業		公共下水道事業	
収益的収入	収益的支出	収益的収入	収益的支出
4億5,966万円	4億6,457万円	41億6,913万円	36億7,856万円
純損益 △490万円(経常損益 △497万円)		純損益 4億9,057万円(経常損益 4億870万円)	

在宅復帰支援および在宅療養支援を重点目標に掲げ、リハビリ機能の強化に努めました。今後も、利用者が安全に快適な生活が送れるよう、湖北病院と連携し、介護サービスの充実を図ります。

昨年に引き続き、管理財源の確保により利益を計上することができました。今後も更なる経営基盤の強化をめざし、利用者サービスの質と独立採算の両方を重視した効率的な経営に努めます。



歳入内訳

歳出内訳